

“5万都市”の仲間入り

春日市はこれから

緑ゆたかな街づくり

春日市の人口が、4月1日、ついに5万人になりました。

市制を施行した2年前の同年4月1日の人口4万5016人が、2年間に5千人も増えて、この4

月1日、5万0013人になるといった人口急増ぶりです。

これで、人口では福岡県の20市中、9番目ですが、これから「5万都市」に恥かしくない一人ま



男の子のお祝いにカプトを贈る柴田市長
 (市長室で)

赤ちゃんが5万人目でした

市の人口が5万人を越した4月1日、市役所に出産届を出された

下白水57112商業、平石直敏さん(36)の二男哲夫ちゃん(3月21日生れ)が、ちょうど5万人目の市民になりますので、柴田市長から8日お祝いにカプトを贈ら

れました。

哲夫ちゃんは、母親の高麗子さん(31)に抱っこされ、パパや家族みんなと市長室を訪ねて、市長から「おめでとー。元気に育って

えのまち」になるには、どんな条件を備えておればよいでしょうか。

柴田市長は、3月の定例市議会冒頭に「過密都市の抱えているヒズミを、何よりも優先して直していきたい」と施政方針で、強い決意をのべています。これが「住みよいまちづくり」の欠かせない第一条件といえましょう。

市長は、つぎに「市民のオアシスの場」になるようにと春日原の旧米軍基地住宅跡133万平方メートルに71万平方メートルの総合公園計画をたて、この実現に向けて全力投球をうけています。緑をもとめる5万市民の要望にこたえようというわけです。

第3弾は、快適・健康的に、5万市民が毎日の生活を送るためなくてはならないのが上・下水道で、この計画の達成が待たれます。

平石さん宅では、こどもの日の5日は、このカプトも一しよに飾って、特にめでたい哲夫ちゃんのお祝いを飾りつけられるそうです。

市長からお祝いにカプトを

一般会計 **29億9,372万円**

特別会計 **10億1,092万円**

49年度の予算は去る3月30日の定例市議会で可決されました。一般会計予算29億9,372万円、国民健康保険会計4億2,356万円、水道事業会計5億8,736万円、合計40億464万円の新年度予算になっています。

一般会計予算は48年度にくらべて24%の増額で、歳出総額のうち教育費が26.6%、民生費が23.1%、土木費が20.5%と、70%を3本柱で占めています。

歳入の内訳



歳出の内訳



福祉の増進

生活援護手当

異常な物価高に対し、特に弱い立場にある老人、身障者、母子家庭を救済するため生活援護手当を支給します。

保育所の新設と児童館の増改築

共働き世帯を援護するための春日西小学校区に白水保育所(仮称)を四、五〇〇万円で新設。その他保育所、児童館の増改築に三六四万円を計上しました。

児童遊園

児童が安全に、のびのびと遊べる広場として用地取得費一、八〇〇万円、遊具施設一五〇万円計一、九五〇万円を計上します。

老人医療の対象年令引下げ

老人の健康管理と生活安定を計るため、老人医療制度の対象年令を昨年度より一才引下げ68才から対象になります。この費用として九、一二〇万円を計上しました。

乳幼児医療費無償化の対象年令引上げ

乳幼児の健康維持と、経済的に弱い若年層の援助策として、二、六四〇万円を計上し、乳幼児医療費無償の対象年令を三才未満まで引き上げました。

児童公園

児童の安全な遊び場として、また、歩行防止の一環として須玖地区に天下児童公園を設置します。

緑化推進

市民生活にうまいを与える「緑の都市」を実現するため、緑化推進事業を実施します。この一環として、市民のマイホーム新築記念に記念木を贈り、植樹を行なっています。

ゴミ収集の週2回実施とし尿の収集

快適な市民生活を保持するため五、一八四万円がゴミの収集・焼却を、八九一万円が不燃物の収集を実施します。

交通安全対策

児童を交通事故から守るため防護柵など交通安全施設を一、三三〇万円を整備します。

教育施設の整備拡充

児童、生徒の夢をはぐくむため、教育施設を整備し、均等のとれた学校教育の充実を計ります。このため春日南(仮称)小学校を二億六、六〇九万円を建設

ことしの予算の中身は

主な事業

区分	金額	構成率(%)
教育	5億4,429万円	45.9
下水道	2億0,283 "	17.1
道路	1億7,757 "	15.0
民生	7,442 "	6.3
河川改修	6,804 "	5.7
災害復旧	4,223 "	3.6
都市計画	3,265 "	2.8
産業振興	1,375 "	1.2
交通安全	1,300 "	1.1
防防施設	715 "	0.6
衛生	150 "	0.1
その他	755 "	0.6
計	11億8,498 "	100

市税状況

	12月	3月	4月
市民税	109,711千円	109,711千円	109,711千円
固定資産税	272,294千円	272,294千円	272,294千円
軽自動車税	13,144千円		
たばこ消費税	61,961千円		
電気・ガス税	42,834千円		

市民の税負担額と市の予算額(一人当り)



あなたが払う分



市の予算は4倍以上

消費者保護対策

家庭用品交換センター

費財の節約および消費生活の向上に役立つため、不用品の交換所を建設します。また、家庭の消費生活を指導するため物産動向調査員制度を設けました。

生活環境の整備充実

道路の舗装、新設改良

道路整備5ヵ年計画も着々と進み、本年度は六、四〇五万円の舗装工事を実施し、舗装率を99パーセントに引き上げます。

また、道路の新設改良工事に八、五〇二万円、その他道路土木・維持補修に四、四一六万円を計上しています。

下水道の整備

本年度には終末処理場の8分の1セツトが処理開始されますので、本年度は五、六七〇万円で公共下水道(桜ヶ丘内水幹線・須玖南水幹線)事業を実施します。なお、福岡県庁の御笠川・那珂川配水下水道事業の負担金として一億四、六一四万円を計上しました。

区画整理

都市整備の基盤となる区画整理を実施するため、七五二万円を計上しました。対象地区は春日地区(50ヘクタール)、小倉地区(80ヘクタール)です。

し、春日小学校増築に三、七三七万円、須玖小学校の増築とプール新設に九、九五八万円、春日東中学校増築に五、八二二万円、合計四億六、一二六万円を計上しています。

付帯施設設備の拡充

高い知識と豊かな経験を要するため、本年度は春日小学校と春日北小学校に一、一〇四万円でVTR(テープ式録画装置)を整備します。

スポーツセンターの整備

市民の健康増進をはかるため一、七〇八万円ですポーツセンターの整備拡充を実施します。

文化財保護

郷土の歴史を守り、跡を残すため大土岡遺跡用地を二、〇〇〇万円で購入し、大南遺跡の発掘調査費に四〇〇万円を計上しました。

産業の振興

産工業の近代化をはかるため米穀融資保証金一、〇〇〇万円と小口融資保証金四〇〇万円を計上しています。

農業振興

都市型農業の推進のため、水路改修、井堰改修費など一、〇〇〇万円を計上しています。

